

## 2012年1月1日（日）主日礼拝説教

### 『新しい創造』 創世記7章23節～8章13節

#### ①【2011年の苦いパン】

新年、明けましておめでとうございます。2012年の新しい年も皆様にとって良い年でありますように祈ります。過ぎ去った2011年を思うとき、大震災のことを忘れることはできません。約2万人の犠牲者を出した東日本大震災、原発事故による放射能汚染により、住まいを離れるのを余儀なくされた多くの被災者が生まれました。また、世界的な大洪水によるさまざまな被害もありました。私たちは「神様はなぜこのような大災害をお与えになったのか」と考えます。児童相談所や乳児院に行くと、何のために生まれて来たのだらうと思う子がいるといいます。ある本の中に書いてありましたが、5歳のS子ちゃんは高校生が産んだ子で、未熟児盲膜症で目が見えず、捨てられました。R子ちゃんはお父さんと中学1年の実の娘の間に生まれた子で、その上心臓に穴が開いており、しかも捨てられた2歳半の子です。その他親に殴られて盲目になった子もいます。尻枝神父はカミュの『ペスト』に出てくるイエズス会神父の言葉を用いてこう答えています。

●ペストにかかって悶え死んでゆく赤ん坊の前で、無神論者の医者が「なぜ神はこんなことを許すのか。少なくともこの子には罪はなかった」となじります。神父は何も答えません。夕方、説教台に立った神父はこううじて「この子どもたちの死は、私たちにとって苦いパンでした。でもこの苦いパンをかみしめないでは、私たちの魂は餓死します。」と言いました。

苦しみの理由を捜しても、悪人探しをしても意味がありません。犠牲になって亡くなった多くの方が私以上の罪があるとも思いません。それはカルトが言うことです。

次のような言葉があります。

●『あなたが喜んで十字架を担うなら、十字架があなたを担ってくれ、すべての苦しみの終わる地まであなたを導いてくれます。』（キリストに倣いて）

●ベルナノスは『私たちの幸福は、しばしばこの世的なものです。ところが私たちの不幸は、常に超自然的なものです。』ともいっています。

仏教では輪廻説によって、すべては前生の罪の因果応報だといいますが、キリスト教はそうはいいません。過去ではなく未来を見ます。過去犯した罪という「うしろ」ではなく、神の業が現れるためという「まえ、うえ」を目指します。苦難の意味は分かりませんが、神がそれを無駄にはしないということなのです。その不幸を神自身が受け取って神の救いの業を現わして下さるとだけ覚えておきましょう。

#### ②【新しいとは】

さて「新しい年」の「新しい」とはどういうことでしょうか。この世界は時計仕掛けのように、自動的に時間が流れているではありません。神は毎日毎日、新しい創造をなさいます。人間の体もそうです。毎日、新しい細胞が造られますが、古い細胞も同居しています。新しい細胞と古い細胞が同居しているのです。細胞が造るのを辞めてしまえば死ぬしかありません。神はアダムとエバに美しいエデンの園をお与えになりましたが、人間は神から離れ、エデンを汚し、死と呪いの大地にしてしまいました。しかし神は、この大地を今も新しくして

下さっています。死と呪いと崩壊の世界の中に、今日も命と祝福と完成の世界が入って来ているのです。ゆえに私たちは神から離れて、再び大地を、この新しい2012年を汚し、崩壊するのではなく、この世界の中で新しく生きなければなりません。神の御手から離れることは、新しい細胞を創造するのを辞めてしまうことなのです。神だけが新しい命を創造することができるからです。

●相田みつおさんがこんなことを書いています。

「正月の正の字は『止』というヘンで引くんですよ。〈正〉というのはね、「一に止まる」ということです。それでは一とは何でしょう。一とは原点、一とは自分、一とはこのわたしです。自分が人間としての原点に止まる、人間としての原点を守る、人間としての原点に帰る、それが正です。自分が自分の原点に立ち帰る月が正月です。」

神の前に来て、神の言葉を聞き、神と交わることこそ、人生の原点です。神と交わることによってのみ人は《新しく》なれます。なぜなら神はいつも「新しく」「死なない命そのもの」だからです。私たちが神の被造物であることを忘れてはなりません。神と交わる人だけが本当の意味で新しいのであり、神と交わるからこそ新年なのです。神と交わらなければいくら新しい年が来ても、その人が古いのです。

### ③【キリストという道を歩こう】

私たちは新しい2012年をどのように生きたらいいのでしょうか。この2012年には何が起り、何が私たちを待ちうけているのでしょうか。2012年はどこに向かって進んでいるのでしょうか。多くの人がそれを不安に思うのではないのでしょうか。

ただキリスト教徒ははっきりと知っていることがあります。キリストが道であるということです。「私は道であり、真理であり、命である」（ヨハネ）といわれたからです。私たちは単に2012年を歩むではありません。2011年～2012年にまたがっている道、変わらず、切れることなく、繋がっている永遠の道、キリストという道の上を2012年も歩くのだと言うことを忘れてはいけません。歩く道はもう定まっています。迷うことはありません。この道を歩くならば、あなたは守られるでしょう。この道が命なのです。ちょうどノアの箱舟が古い世界と新しい世界をまたいで生き残ったように、キリストという道はこの世と神の国をつなぐ道なのです。古い世界と新しい世界をつなぐ道です。

### ④【キリストはあなたを完成させるために来る】

ノアの箱舟の物語は私たちに深い真理を教えています。神はこの地上に悪が満ちたので、すべての被造物を造ったことを後悔し、地上から生き物をめぐい去ろうと決心し、洪水を起こされます。そこでノアに箱舟を造ることを命じられました。この箱舟に入った8人だけが救われたのです。「彼らは大地からめぐい去られ、ノアと彼と共に箱舟にいたものだけが残った」（創世記7：23）とあります。

「神はノアと彼と共に箱舟にいたすべての獣とすべての家畜を御心に留め、地上に風を吹かせられたので水が減り始めた。」（創世記8：1）この箱舟はキリストの象徴です。洪水という裁きの嵐の中を箱舟が代わりに裁きを受けたので、その中の者たちは打たれません。同様にキリストが十字架で打たれたので、彼と一体である私たちには害が及ばなかったのです。そしてキリストはこの地上に聖霊という風を送りました。それは最初の大地を聖霊によつ

て創造したように、新しい大地を再創造するためなのです。神の裁きは既に終わり、今も地上に聖霊という新しい風が吹いています。ノアはカラスや鳩を放って、地上の水が渴いたかどうかを調査します。箱舟の中は暗く、外の世界は何も見えません。だから鳩によって、水が引いて新しい命が始まっているかどうかを調べるのです。9節を見ると「鳩は止まる所が見つからなかったので、箱舟のノアのもとに帰って来た。」とありますが、14日後に鳩を放つと「鳩はもはやノアのもとに帰って来なかった」（創世記8：12）とあります。最初はまだ止まる木が見つからなかったのですが、14日後には止まる所が見つかったので帰って来なかったのです。キリストが洗礼を受けた時、天から鳩の姿で聖霊が降り、この方の上に止まりました。聖霊という鳩は、キリストの上に安心して止まるのです。この方が命の木そのものだからです。

13節を見ると「最初の月の一日に、地上の水は渴いた」とあります。つまり1月1日に地上の水が渴くのです。既にキリストという命の木は生じ、地上に聖霊という鳩が飛び交っているのが今日なのです。

だから今という時は「古いもの（古い世界＝箱舟）」と「新しいもの（新しい世界）」が混在しているようなものなのです。ノアの箱舟が既に洪水の裁きは終わって、アララト山に辿り着き、そこで水が引くのを待っているようなものです。ノアが鳩（聖霊の象徴）を通して新しい命の世界が始まっていることを知ったように、教会は聖霊という鳩を通して新しい命の世界（神の国）が始まっていることを知ります。神が命じられる時まで、暗い箱舟（古い世界の象徴）の中で、新しい世界を夢見て待つのです。だからイエス様も天国は良い麦と、毒麦が混在しているようなものだといわれ、「天国のことを学んだ学者は皆、自分の倉から新しいものと古いものを取り出す一家の主人に似ている。」（マタイ13：52）と言われたのです。私たちは聖書を通して、隠された神の秘密を知るのです。

今を生きている人は知恵を働かせ、投げやりになって怠惰に陥ることなく、また世間の偽預言者に惑わされて恐れてもなりません。万物は崩壊にではなく、完成に向かっているのです。現に聖霊という風が地上を吹き、教会という命の木が存在しているではありませんか。キリストがこの世にもう一度こられるのは、万物を完成させるためです。キリストが来られる時、私たちは完成するのです。恐れてはなりません。再臨は裁きのためにありますが、私たちにとっては救いの完成、癒しの完成のためにあるのです。洗礼を受けた皆さんはキリストの体であり、キリストの花嫁です。花婿が花嫁を迎えに来るように、この方は私たちを迎えに来られます。頭が体と一体であるように、自分の体であるあなたと完全に一体になるためにキリストはやって来るのです。あなたがたはキリストの物であって、悪魔も何者も手出しはできません。だから恐れてはなりません。

一休さんは「門松や冥土の旅の1里塚」と歌いましたが、新年が来るために、私たちは歳をとり、死が近づいたと思っはなりません。私たちは死ではなく、命が近づいたと思ひましよう。救いは近づいたと思ひましよう。